

普遍的な美しさを備えた デザインの力

椅子研究家／東海大学名誉教授
北海道東川町文化芸術コーディネーター
織田憲嗣
おたのりつく



デザインという言葉の意味は極めて広く、計画(予定)・設計(意匠)・下図(図案)といったこれら先のことの意味するイメージがあります。日本においてデザインという言葉が登場したのは、昭和30年代以降です。長らく形や色などに限定された使われ方をしてきたため、デザインの意味するところは意匠である、という概念のみが定着してきたように思われます。他方、北欧ではBrugskunst = Applied Art (応用美術)という言葉がデザインや工芸の分野を示す言葉として使われてきました。この応用美術という言葉は、日本でも使われた時期がありますが、現在ではほとんど用いられていません。

欧米ではデザインとアートを区別することなく、デザインの芸術性や文化性、社会性などを認めています。そのため、欧米諸国にはほぼ例外なくデザインミュージアムが存在します。ここでは20世紀に誕生した家具を含む美しい日用品の数々が暮らしのテ

ーマごとに展示されています。私たちが普段使っている様々な生活用品の原点とも言うべき美しく機能性に富んだデザイン作品。そうした作品には半世紀を超えた現在でも古さを感じさせない普遍的なデザイン力とも言えるべきものが潜んでいます。デザインの役割は「一人の生活に直接関与し、美的な安らぎと機能的な満足を与えるもの」と言えるでしょう。また、社会的な面から捉えると、個人と組織、個人と物、個人と環境などの間における潤滑油的な存在と



1. 撮影：Kentauros Yasunaga

も言えます。そしてコミュニケーションの役割を果たすものでしょう。

今日、衣・食・住の大部分がファスト文化に占有され、若い世代を中心にそれが当たり前のようになっていきます。日本の将来を支えるべき世代が、そのような価値観で良いのでしょうか。そうした若い人達こそ、時代を生き抜いてきた普遍的な美しさを備えた本物のデザインの数々をバーチャルや写真でなく、本物、実物として鑑賞できる場が必要だと考えます。

また、急速に高齢化が進む日本では、工芸分野などでの後継者不足が続いています。後継者がいても親子の間で価値観の違いが生じると、それまで大切に使われてきた、20世紀の名作とも言える美しいデザイン作品や書籍・文献類はいつも簡単に処分されてしまうこと



撮影：大塚友記憲

があります。欧米のデザインミュージアムの多くが、そうしたデザイン文化遺産の受け皿となり、後世にそれらを伝えていく役割を果たしているのです。

日本では日々、新しいデザイン作品が生まれては消えていく状況にあります。消費者の購買意欲をあり、新製品を市場に送り出します。そのルーツとなったオリジナルの作品と比較することなく、とにかく新しさ、便利さ、快適さをセールスポイントにしています。デザインミュージアムでは様々なモダンデザインの名作が展示されていますが、それらはまさに、それぞれの製品のルーツと呼べるものです。前のめりに新しさばかりに重きを置くのではなく、そうした様々な優れた製品が生活文化を向上させてきたことを忘れてはなりません。

私が研究のために収集してきた家具や日用品は、そのほとんどが半世紀以上に生きたものです。「日本に初の本格的なデザインミュージアムの創設を」という一念から、日本でも指折りの家具産地である北海道旭川エリア、東川町を拠点として、20世紀の美しい椅子と日用品の名作を展示し、研究資料の集積・保全を行っています。優れたデザイン作品には力があり、本物と呼ばれるものにはそれを手に入れたとき、心を揺さぶられる感動があります。そうした思いを次世代に伝えていきたいと考えています。

(注1)参考文献：南雲治嘉著「視覚表現—コンピュータ時代のペーシックデザイン」

1. ビーコックチェア(ハンスJ・ウエグナー)1947年デザイン
2. ボツレ(タビオ・ヴィルカラ)1967年デザイン
3. 現存は世界で唯一 イージーチェア(ペント・ヴィンゲ)1958(59年デザイン)
4. 世界に2点 サ・チェアプロトタイプ(ハンスJ・ウエグナー)1949年デザイン

時の調べ Essay

略歴
1946年高知県生まれ。大阪芸術大学卒業後、高島屋宣伝部にイラストレーター、グラフィックデザイナーとして勤務。その後、独立しデザイン事務所を設立。1994年から北海道東海大学芸術工学部(当時)教授となり、特任教授を経て現職に。現在、北海道東神楽町の森の中の自邸で暮らす。



2. 撮影：Kentauros Yasunaga

「ていねいに美しく暮らす 北欧デザイン展」
展示情報
椅子研究家織田憲嗣氏が収集、研究し、北海道東川町が公有化をすすめる「織田コレクション」をもとに構成。椅子などの家具からインテリアアクセサリーや食器まで幅広く展示。
会場(名古屋)：ジェイアール名古屋タカシマヤ 10階特設会場
期：2023年4月20日～5月7日
開館時間：10:00～20:00(最終日～17:00)※入場は開場30分前まで
会場(大阪)：大阪高島屋 7階グランドホール
期：2023年8月9日～20日
開館時間：10:00～19:00(最終日～17:00)※入場は開場30分前まで
料金：一般1000円(前売り800円)／大学・高校生800円(600円)／中学生以下無料 ほか最新情報は、高島屋各店ホームページ参照